（お知らせ）

令和８年１０月３０日
防　　衛　　省

今給黎防衛装備庁長官のＮＡＴＯ国家装備局長級会合（ＣＮＡＤ）への参加等について（概要）

２０２６年１０月２９日（木）、今給黎防衛装備庁長官はベルギー・ブリュッセルを訪問し、ＮＡＴＯ国家装備局長級会合（ＣＮＡＤ：Conference of National Armaments Directors）に参加したところ、概要は以下のとおり。

今給黎長官は、ＮＡＴＯ国家装備局長級会合（ＣＮＡＤ）の日本を含むパートナー国が招待されるＩＰ（Interoperability Platform）フォーマット※に、日本から、防衛装備庁長官として初めて参加しました。

本会合のＮＡＴＯアンカラ首脳会合の成果及びその実施に関するセッションにおいて、今給黎長官から、７月に小泉防衛大臣がアンカラ首脳会合に初めて参加したことを踏まえ、日本の防衛生産・技術基盤強化の取組や日ＮＡＴＯ防衛装備・産業協力の進展について共有するとともに、欧州・大西洋とインド太平洋の安全保障の不可分性や、防衛生産力強化に向けた同盟国・同志国との連携の重要性について発言し、各国装備局長級出席者と意見交換を行いました。

また、本会合の機会を捉え、ＣＮＡＤの議長であるヤッコラＮＡＴＯ事務総長補（防衛産業・イノベーション・軍備担当）と会談を実施し、標準化やイノベーションを含む日ＮＡＴＯ防衛装備・産業協力の今後の発展について意見交換を行いました。

そのほか、ダフィー米戦争次官（取得・維持）、ブークホルト蘭国家装備局長、及びローハースイス連邦装備調達局長との二国間会談を実施し、防衛装備・技術協力の更なる推進に向けて意見交換を行いました。





（※）ＩＰ（Interoperability Platform）フォーマット
NATO 加盟国３２カ国に加えて、NATO のパートナー２１カ国（アルメニア、豪州、オーストリア、アゼルバイジャン、バーレーン、ボスニア・ヘルツェゴビナ、ジョージア、アイルランド、日本、ヨルダン、カザフスタン、韓国、モルドバ、モンゴル、モロッコ、ＮＺ、セルビア、スイス、チュニジア、ウクライナ、ＵＡＥ）が招待されているフォーマット。